

フォス・ド・イグアス会議、「ラテンアメリカとカリブ海地域の統合に関する人民への手紙」を公表 脇浜義明訳、田中一弘補訳 \*脚注はすべて訳注

Peoples Dispatch, 2024年2月25日



2月23日、ラテンアメリカとカリブ海地域の統合に関するフォス・ド・イグアス（ブラジル）会議は人民宛「ラテンアメリカ・カリブ海諸国民統合のための手紙」を採択した。会議で討論されたことの要約と地域人民統合を推奨する内容の手紙である。会議は2月22日から24日まで行われ、地域の20ヶ国以上の国々から4000人が参加した。コロンビアのフランシア・マルケス副大統領も参加した。「我々人民の団結こそが、ラテンアメリカとカリブ海地域の国々を国際金融資本や多国籍企業に役立てようとして我々の民族的及び人民の主権を破壊しようとする極右の動きを止めるうえで、一番重要な基本である」と、手紙に書かれている。これが会議で討議された主要テーマであった。

手紙はまたキューバとベネズエラの革命への連帯と表明し、さらにハイチの植民地的支配とイスラエルのパレスチナ人大虐殺を非難している。「国際社会は速やか停戦と自由な主権国家パレスチナの樹立を求めるパレスチナ人民の声を断固支持しなければならない」と述べている。

また、手紙はイスラエルの蛮行に関するルーラ大統領の発言を支持している<sup>1</sup>。「ルーラ氏が『好ましがらざる人物』（*persona non grata*、ペルソナ・ノン・グラータ）なら、ラテンアメリカの人民はみんなイスラエルにとって『好ましがらざる人物』（*persona non grata*）だ」と書かれている。

環境問題も人民への手紙の中心テーマであった。「我々は来年ブラジルのパラ州の首都ベレン

<sup>1</sup> ルーラ大統領はガザの虐殺をホロコーストと同じと言った。イスラエルの外務大臣はそれを反ユダヤ主義だと言って、ルーラを『好ましがらざる人物』（*persona non grata*）とした。

で、COP30 に関連して、すべての組織と人民を招集し、人民サミットを開くことを決定した。」

最後に、手紙は、南米大陸で人民統一闘争を行う日付を明示した。3月2日と8日、4月17日、5月1日、6月5日、10月16日である。



Foz do Iguaçu, February 23, 2023

#### ラテンアメリカとカリブ海地域の統合に関する人民への手紙（全文）

我々、世界人民は、現在、資本主義体制のグローバル構造的危機の真ただ中にあり、その諸結果は予測不可能である。それはネオリベラル段階の資本主義が産み出した危機で、様々な面で我々の生活、いや生命そのものの持続可能性を脅かしている。我々人民は、人類史で先例のないような食物、環境、社会・経済的危機として具現する構造的危機を経験している。不安定な仕事、人間らしい生活への基本的権利の欠如のため、何億人もの人々が日々の食べ物にも事欠く貧困状態に置かれ、そこでは多くの人にとって移住だけが惨めな選択肢となっている。自国では多国籍企業の環境犯罪の影響と、国際金融資本がもたらした危機で、苦しい目にあうばかりである。社会と国民が個人主義的・消費主義的願望に毒されて、大きな価値観の危機が襲っている。

地政学的紛争が激化し、米帝国と NATO 同盟諸国の好戦的な表情がますます目立ち、我々人民を前例のない武力紛争の危険に追い込んでいる。ウクライナ戦争はそういう状況の一つである、イスラエルがパレスチナ人に行っているジェノサイドも同様である。

我々は、ラテンアメリカとカリブ海地域の統合に関する会議で、国際主義的連帯とパレスチナの大義の擁護と支持を再確認した。国際社会は、即時停戦と自由な主権国家パレスチナの樹立を求めるパレスチナ人の声に耳を傾けるべきである。

我々はパレスチナ人ジェノサイドを非難するルーラ大統領を完全に支持し、連帯する。ルーラ氏がペルソナ・ノン・グラータなら、ラテンアメリカの人民はみんなイスラエルにとってペルソナ・ノン・グラータである。

パレスチナ人万歳！ ルーラ大統領万歳！

「ヌエストラ・アメリカ Nuestra América」(我らのアメリカ)の人々は、巨大資本が構造化した帝国主義的支配へ絶え間なく抵抗する生活を余儀なくされてきた。この抵抗の過程で、人々とそ

の組織は、人民の統合という歴史的事業を推し進める原則に目覚めた。我々はみんな人種差別的植民地主義とそれに協力した軍事独裁政権への抵抗運動の息子であり娘である。前世紀末のネオリベラルの大波に対する人民的抵抗と反乱の息子であり娘である。「No to FTAA (米州自由貿易地域)」闘いの息子であり娘である。我々はキューバ革命の光と英雄的抵抗の元で育ち、マル・デル・プラタで「ここマル・デル・プラタはALCA<sup>2</sup>の墓場だ。アメリカ人民が埋葬するのだ」と宣言したチャベス司令官とともに「ALCA クタバレ！」と叫んだ人民の息子であり娘である。

本日我々が会合を持つのは、我々人民とその組織の団結こそが、ラテンアメリカとカリブ海地域の国々を国際金融資本や多国籍企業に役立てようとして、我々の民族的及び人民の主権を破壊しようとする極右の動きを止めるうえで、一番重要な基本であると思うからである。地域人民の間の連帯と相互補完に基盤を置く地域主権と統合を構築する目的で集まったのである。

連帯こそが統合の基本的柱である。それだからこそ、我々はキューバ、ベネズエラとの連帯を再確認し、両国の革命を我々の道しるべとして前進することを再確認するのだ。我々は、キューバをテロ支援国家リストから外させる「キューバを生かそう (Let Cuba Live)」国際運動への関わりを続け、キューバ人民に60年間以上の長きにわたって課している虐殺的封鎖を非難する。

我々は、ベネズエラ人民とボリバル革命が構築しつつある民主主義の合法性を認めず、それを潰そうとする帝国主義の画策を糾弾し、米国がベネズエラに押し付ける一方的な強圧手段を非難して連帯を強化することを誓う。

キューバ革命万歳！ ボリバル革命万歳！

ハイチとの連帯強化は永続的な課題である。我々はハイチの不条理で犯罪的な新植民地主義支配を非難し、ハイチの人々と人民運動との積極的な連帯を発展させることを誓う。米国の軍事介入に反対するハイチ人民の闘いを支持する。米軍事介入はカリブ海地域の帝國的支配の一環である。我々は、MINUSTAH (国連ハイチ安定化ミッション) のような国連平和維持部隊がハイチ人民に行った犯罪に対する賠償を求める。MINUSTAH はハイチ社会の構造的危機を深化させ、破廉恥にも米国の意向で動く極右勢力を組んだのだ<sup>3</sup>。ハイチの人々は、今日も、帝国主義の攻撃に英雄的に抵抗し続け、この地域で初めての革命、南アメリカにおける革命の道を拓く闘いを行っている。

ハイチ人民万歳！

我々は南北アメリカの先住民の自治を支援・擁護する。彼らの文化と生活様式を尊重し擁護する。我々は各国政府に先住民の領土や伝統的職業を返すことを要求する。1974年ブラジルとパラグアイ両国が開発した水力発電ダム「イタイプ・バイナシオナル (Itaipu Binacional)」建設の犠牲になったアヴァ・グアラニー族への補償を要求する。

我々が提起する地域統合は政治権力と文化の脱植民地主義化と、それに代わる対抗政治権力の構築を前提とする。それは下からの権力、人民からの、生活地からの権力で、歴史的経過、記憶、祖先、政府権力に反抗する多様なコミュニティへの尊敬を基礎とする権力でなければならない。相互依存、相補性、集団性、そして人間も自然の一部という自覚に根差した反覇権的談話を構築し発展させなければならない。

我々、人民運動と労働組合は、人民の具体的必要に対応し、国の経済的・社会的限界はバラバラに孤立しては克服できないという考えを取り入れて地域統合を進めなければならないと要求し活動してきた。この前提に基づいて全人民のための生活条件や労働条件を創造し、それを持続可能

---

<sup>2</sup> FTAA のスペイン語及びポルトガル語の頭文字。

<sup>3</sup> ハイチ地震など自然災害に加え、MINUSTAH がコレラを持ち込み、ハイチの人々は踏んだり蹴つたりの目にあった。

な発展モデルの構造条件とする。生命の生産と再生産の根底となる経済的事実として労働と雇用を復権させるような地域統合でなければならない。それは富と幸せを創造する統合でなければならない。そこでは「何」を「どのように」生産するかが中心となり、女性が経済に主役、権利の担い手として尊敬される統合である。

我々が目指す地域統合は、人民が自分たちの政治的戦略を規定し、農業生態学的で公正な食物生産と配分と消費を、小規模農業生産方法に基づき、女性の中心的役割を認める原則で行うことを決定する人民的権利を、当然と見做すものである。これは、気候変動、生物多様性喪失危機、水危機、食糧危機と闘う上の基本的柱である。また我々が目指す地域統合は、公正で、人民的で、フェミニスト的変革を集団の力で構築することに対応するものでなければならない。これは、社会変革と解放的な人民的政治プロジェクトの構築に関する議論の中で絶えず討論される中心的提起である。

我々のプロジェクトの構造的特徴は、政治的主体として女性の役割を中心として認めるフェミニスト的で多様な考え方を統合していることである。また、経済的自立、身体的安全、安定した生活を保証できるように、女性の職業、農地、生産手段への権利を完全に実現することを希望している。また、労働に対する報酬を公平にすること、モノの生産、配分、消費についても多様で公正なシステムを開発することも、我々のプロジェクトの基本的な要素である。

すべての人が移住する、または移住しない、あるいは自分の出身国へ帰還する権利を有すると、我々の統合プロジェクトは考える。移民というのは社会と国家の形成過程の一部となる経済的、社会的、文化的、政治的現象である。移住の犯罪化をなくし、移民を経済的、社会的、文化的、政治的に移住先の国に統合するように奨励することが必要である。我々は外国人排除や移民、難民、亡命希望者に対するヘイトスピーチを拒否する。

我々は地域や世界で一つの歴史的瞬間を経験している。本日、地域の人民運動や労働組合から数千人の同志たちが集まり、大きな歴史的瞬間を創り出していることを確認する。

\*我々は大陸の統一を促進し、我々労働者が人間的尊厳を維持して幸せに暮らせる人民主権の場を構築し、それを守るために、働き闘うことを誓う。

\*我々是我々の権利と環境正義、社会正義、経済正義、ジェンダー正義を実現する運動を続ける。今年3月2日と8日、4月17日、5月1日、6月5日、10月16日に団結して街頭で大衆行動を行う。

\*我々は来年ブラジルのパラ州の首都ベレンで、COP30の文脈に基づいて人民サミットを開くために、すべての組織と人々を再び招集し結集する。

同志諸君、我々は今日の会議でいっそう強くなり、希望がいっそう高まった。なぜならば、我々の道は闘いと統一への道であり、我々の未来は勝利の未来だからである。それは自由で公正で人民主権の大陸を構築する道である。

我々人民の統合万歳！

ラテンアメリカとカリブ海地域の統一万歳！

我々は生き続け、必ず勝利する！

Monthly Review は、MR Online で再掲載された記事のすべての見解を必ずしも支持するものではありません。私たちの目標は、読者が興味深く、あるいは役に立つと思われる様々な左派的視点を共有することです。-編者

Peoples Dispatch について

Peoples Dispatch (旧 The Dawn News) は、世界中の人々の運動や組織からの声をお届けすることを使命とする国際的なメディア組織です。3年前の設立以来、世界各地のニュースを、政治家の美辞麗句や大企業の富に限定することなく、世界各地の動員の豊かさと多様性を包含するような報

道を心がけてきました。Peoples Dispatch はまた、主流メディアとは大きく異なる視点からニュースをお届けすることを目指しています。私たちは、世界中の人々の運動や政治団体から情報をお寄せいただくようお願いしています。